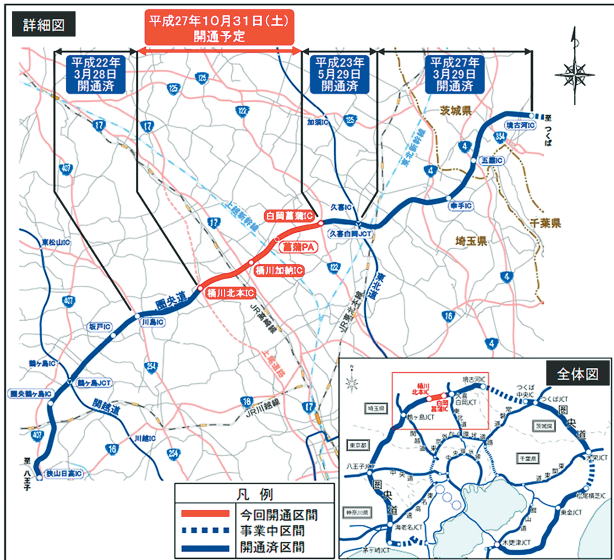


平成27年10月31日(土)
首都圏中央連絡自動車道
桶川北本IC～白岡菅蒲IC開通
～つながる。東名から東北。～

開通する。
圏央道は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的として、都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路で、現在までに約230kmが開通している。
今回の開通により、東名から東北道までがつながり、企業活動や観光活性化を支援するストック効果が期待されている。
【開通日】平成27年10月31日(土)
【開通区間】圏央道(桶川北本IC～白岡菅蒲IC)／10・8km
【開通効果】①日本の大動脈が直結、日本経済を支援

▽日本の経済活動の根幹を担う大動脈である東名高速・中央道・関越道・東北道が直結し、新たなネットワークが形成され、日本経済の循環を支える。
▽関西・中部方面と東北方面間の輸送は、混雑する東京都心を通過せずに圏央道経由のルートが選択できるようになり、輸送時間の短縮が期待される。
②企業立地を促進し、雇用や投資が増加
▽埼玉県では、圏央道沿線地域の新規立地が10年で462件となり、新規雇用が▽今回の開通により、配送増えるなど、民需拡大・地体制の効率化など、企業の活性化に寄与。

今回開通区間の位置図



2015年11月16日(月)～11月27日(金)

東名集中工事

<http://tomei-info.com/index.html>

NEXCO 中日本

用してもらうため、2015年11月16日(月)から11月27日(金)までの期間(土・日・祝日は除く)、東京ICから沼津ICまでの間で集中工事を行う。この工事では、安全性向上3カ年計画に基づき、トンネル・橋梁の補修、標識の落下防止対策や路面の補修などを昼夜連続工事規制により行う。
また、2015年11月24日(火)19時から11月25日(水)7時の期間は、御殿場上り、湘南・鎌倉周辺がより身近になる。
▽圏央道の開通により、久喜白岡JCTから茅ヶ崎海岸までの所要時間が、約140分から約85分に短縮する。(約55分短縮 都心の渋滞を回避でき、定時性も向上する。
③新たな広域ネットワークが形成され観光交流の活性化が期待
▽観光地へのアクセスが向上し、湘南・鎌倉周辺がより身近になる。
▽圏央道の開通により、久喜白岡JCTから茅ヶ崎海岸までの所要時間が、約140分から約85分に短縮する。(約55分短縮 都心の渋滞を回避でき、定時性も向上する。

③新たな広域ネットワークが形成され観光交流の活性化が期待
▽観光地へのアクセスが向上し、湘南・鎌倉周辺がより身近になる。
▽圏央道の開通により、久喜白岡JCTから茅ヶ崎海岸までの所要時間が、約140分から約85分に短縮する。(約55分短縮 都心の渋滞を回避でき、定時性も向上する。

③新たな広域ネットワークが形成され観光交流の活性化が期待
▽観光地へのアクセスが向上し、湘南・鎌倉周辺がより身近になる。
▽圏央道の開通により、久喜白岡JCTから茅ヶ崎海岸までの所要時間が、約140分から約85分に短縮する。(約55分短縮 都心の渋滞を回避でき、定時性も向上する。

振

政府は現在、平成28年度から始まる次期交通安全基本計画を策定中である。現計画である第9次交通安全基本計画では、平成27年度までに年間の24時間死者数を3,000人以下、死傷者数を70万人以下とすることを数値目標として掲げている。

昭和20年代後半から40年代半ば頃まで、道路交通事故の死傷者数が著しく増加した。このため、当時、交通安全の確保は大きな社会問題となり、交通安全対策基本法が制定された。これに基づき、昭和46年度以降、9次にわたる交通安全基本計画を作成し、国、地方公共団体、関係民間団体が一体となって交通安全対策に取り組んできた。平成26年の交通事故死者数は4,113人となり14年連続で減少し、ピーク時(昭和45年・1万6,765人)の4分の1以下となった。交通事故発生件数及び負傷者数も10年連続で減少している。このことは、国、地方公共団体、関係民間団体のみならず、国民を挙げた長年にわたる努力の成果であると考えられる。交通安全対策

次期交通安全

基本計画策定に向けて

は、国が取り組んでいるあらゆる政策の中で最も効果を上げたものの一つであると言えるであろう。しかしながら、平成26年の死者数は4,113人であり、平成27年度までに3,000人以下とする目標とはまだまだ乖離がある。今のままで死者数が推移すると目標の達成は難しくそうだ。死亡者数の減少幅は縮小傾向にあり、死者数が減りにくい状況となっている。死者数の減少幅が縮小している背景としては、①高齢者人口の増加、②シートベルト着用率の頭

打ち、③飲酒運転による交通事故の下げ止まり等が言われている。特に、高齢化社会が進展していく中、今後一層の高齢者対策が望まれる。日本は自動車乗車中の死者数の少なさでは先進7カ国中トップであるが、一方歩行中・自転車乗車中の死

者数は先進7カ国中最下位である。その死者数は、全交通事故死者数の半数を占め、さらにその半数は自宅から500メートル以内の身近な道路、いわゆる生活道路で発生している。これは、本来幹線道路を通行するはずの通過のための自動車が渋滞

等为了避免のために生活道路に多く進入し、生活道路における自動車交通量が多くなってしまうためだと考えられている。日本の都市構造は、欧米に比べると、小規模の住宅が密集し街区の道路も狭く入り組んでいる。このため、道路は見通しが悪

く、更に、電柱や駐車車両が多く歩行者や自転車の通行を阻んでいるのも一因である。生活道路における交通安全対策が交通事故の減少に大きな効果があるものと思われる。一方で高速道路などの安全性の高い道路の利用が低いと言われている。高速道路は、死傷事故率が一般道路に比べて約10分の1と極めて安全な道路と言える。高速道路の利用状況を主な欧米諸国諸と比較すると、その利用率はアメリカ、ドイツ、フランスは30%を超え、日本は16%とこれら

の国のほぼ半分である。日本も近年、首都圏3環状道路を始めとする高速道路等の整備が進展してきている。たとえば、首都圏3環状道路は、平成16年には約3割であった整備率が、平成26年には約7割まで進展してきている。これまで付近の生

活道路を通過していた自動車を整備の進んだ高速道路へ誘導し、高速道路等の利用率が上がって生活道路の自動車交通量を減らすことが出されれば交通事故の削減が大きく期待できる。
近年、IT技術の進展によりETC2・0等のサービスが普及してきている。これにより速度、急ブレーキなどのプローブ情報が得られるようになり、これまでの区間ごとの事故率による分析に加え、多くの自動車はどこで急ブレーキをかけるか(急ブレーキ位置情報 等のビッグデータの分析ができるようになってきている。これにより、事故の多発する可能性の高い潜在的危険箇所を特定し、その箇所に対策を施せば、効率的に道路の安全性を高めていける。

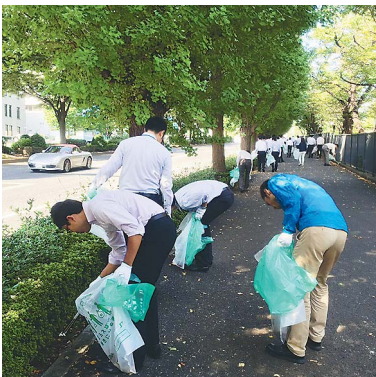
次期交通安全基本計画は、これまでの交通安全対策に加え、道路を賢く使い、先進的な技術を積極的に取り入れた実効性のある計画にしたい。そして、世界一安全な道路交通の実現を目指し、最終的には、交通事故の無い社会を実現して欲しい。

オフィス街
ロードクリーン
2015

10月6日(火)朝、東京都内の中央官庁や民間のビルに勤務する人たちが地元町会などのボランティアによる歩道の清掃が行われた。

この取組みは、平成7年から実施しているもので、21回目となる今年も、国土交通省、同関東地方整備局、東京都、千代田区、港区及び東京地下鉄(株)が協力し、周辺で勤務する方々等へ参加の呼びかけたところ、1,000人を超えるボランティア活動となった。

当日は、晴天17℃という爽やかな天気の下、タバコの吸い殻などのゴミ、枯葉、銀杏など、延長約10kmの歩道を清掃した。



大規模修繕・更新補助制度
第二回追加予算配分決定

国土交通省では、道路施設の老朽化対策として、地方公共団体の行う大規模な修繕や更新の事業に対し複数年にわたり集中的に支援することを目的に、今年度より「大規模修繕・更新補助制度」を創設した。

今回、地方公共団体からの要望を踏まえ、長寿命化を推進する観点から、新たに6箇所(修繕4箇所、更新2箇所)を採択し予算配分を行った。

また、既に採択している事業のうち、3箇所について追加の予算配分を行った。

※今回の予算配分額(事業費)・・・8億円(参考)前回予算配分までの予算配分額・・・32億円

今後、修繕事業への優先的な予算配分等による地方公共団体の老朽化対策の支援を推進していくとしている。

今回新たに採択した事業 6箇所

大規模修繕 4箇所

都道府県	市町村名	路線名	箇所名	延長 (m)	供用からの経過 (年)	事業内容	配分額 (百万円)
兵庫県	高砂市	(市) 小松原曾根幹線道路	谷川橋	58	43	主桁鋼板張付、塗装塗り替え など	184
和歌山県	御坊市	(市) 猪野々大浜通線	御坊大橋	480	24	主桁断面補修、支承補修 など	170
山口県	岩国市	(市) 錦見 117 号線	愛宕橋	353	80	主桁断面補修、伸縮装置補修 など	8
熊本県	錦町	(町) 錦中央線	錦大橋	266	45	主桁取替、下部工ひび割れ補修 など	210
							計 572

大規模更新 2箇所

都道府県	市町村名	路線名	箇所名	延長 (m)	供用からの経過 (年)	事業内容	配分額 (百万円)
和歌山県	和歌山市	(市) 市駅湊線	河西橋	478	101	橋梁架替	130
山口県	周南市	(市) 環状線	古川跨線橋	177	51	橋梁架替	50
							計 180

既に採択している事業 3箇所

都道府県	市町村名	路線名	箇所名	延長 (m)	供用からの経過 (年)	事業内容	配分額 (百万円)
長野県	坂城町	(町) 0621 号線	昭和橋	466	78	床版補修、下部工ひび割れ補修 など	4
高知県	四万十市	(市) 白岩用井線	西土佐大橋	347	37	床版補修、下部工ひび割れ補修 など	20
宮崎県	都城市	(市) 甲斐元通線	歌舞伎橋	140	49	橋梁架替	56
							計 80

※四捨五入の関係で、各計数の和が合計と一致しないところがある